

## 瀬戸内消防署との合同防火避難訓練に参加して

1年生 棚原梨楓

私たち1年生は、11月11日(金)に当校の母体施設である国立療養所長島愛生園と瀬戸内消防署との合同訓練に参加しました。今年度の訓練は、一般病棟で行われ私たちは入所者役でした。その中で私は臥床している入所者役として参加し、消防隊員の方に救護される経験をしました。救護される際には、隊員の方から氏名や症状など一つひとつ声をかけていただき安心感を抱きました。緊急時には、落ち着いて相手に視線を合わせ丁寧に声をかけることが大切であることを実感しました。また、ストレッチャーで室内から室外へ搬送された際に環境の変化に対して、太陽がまぶしく暑く不快であったことに対する配慮や状況が分からないための説明やその都度声をかけて確認していただいたことが、今でも良い思い出として心に強く残っています。

今回経験したことで、搬送時には、何が起きているのか、どうなるのか分からず不安であるため、声かけ一つひとつが大切であり安心につながることを身をもって体験しました。そのため、私が看護を行う際には患者さんに対して、丁寧に優しく、相手に安心感を与えられるような声かけや関わりを行っていきたいと思います。また今回、ストレッチャーで搬送された経験を生かして、患者さんをストレッチャーで移送する際には環境に合わせた配慮やスピードに気を付けること、また、曲がり角や方向を変える際には十分な声かけや揺れに注意しないといけないと学びました。

最後に、訓練の大切さを実感し、多くの学びを得たことに感謝します。



大丈夫ですか。  
家の中から、  
外に出ました。  
まぶしくない  
ですか。。